

## 開発計画等

### 第8次国家社会経済開発計画（NSEDP）2016-2020

#### 【全般】

ラオスの安定と繁栄は、ASEANの一体性を確保し、地域全体の平和と繁栄を確保するために必要不可欠であるとの認識を踏まえ、政府は5年ごとの計画（NSEDP）を策定しています。第8次NSEDPでは「3つの成果」を掲げ、この成果の実現を通じて、SDGs達成に向けた持続可能な発展を確保し、2020年までのLDC脱却という目標を達成する国家計画を策定した。3つの成果とは以下の通りです。

成果1 経済：強い経済基盤と経済的脆弱性の低減

成果2 社会：人材開発、貧困削減、質の高い教育・医療へのアクセス、ラオス特有の文化の保護・発展、

成果3 環境：グリーンかつ持続的な自然資源と環境の保護と活用、自然災害や気候変動への備え

これらの達成のために以下を実施することを掲げています。

#### 【成果1】強い経済基盤と経済的脆弱性の低減

- 地域及び国際社会における統合を推進する。陸路・空路がASEAN基準・国際基準を満たす、自然災害に対して強靱な交通網として整備される。それにより、安全・円滑なヒト・モノの流通が確保され、メコン地域の流通ハブの基礎が形成される。
- 官民の労働力の能力開発、国内企業の国内外における競争力強化等を推進する。産業を多角化し、競争力を強化するために、産業人材育成に包括的に取り組む。また、育成された人材の就労環境整備のために、産業政策の策定、中小企業の起業推進と競争力強化、海外投資誘致の促進等を進める。

#### 【成果2】社会開発の推進

- 食料安全保障の確保及び栄養状態の改善等を進める。•農業はラオスの主要産業の1つであり、周辺国に有望な市場を有し、肥沃な農地から潜在的に高い開発ポテンシャルを有している。農業を競争力ある産業として確立させ、食料安全保障を確保する。

#### 【成果3】環境保全

- 持続的な自然資源管理を推進することとし、グリーン・クリーン政策を掲げる。•首都ビエンチャン及び地方都市における急速な都市開発・人口増に対応するため、グリーン成長に基づき、都市環境整備、景観・文化の保全、市民への公共サービスを拡充する。
- SDGsの達成、2020年までのLDC脱却に必要な、貧困削減及び人的資源開発指数の改善のため、また、2025年のユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成する。

参照：外務省「ラオスの持続的な発展に向けた日本・ラオス開発協力共同計画」（2016年）